

## 数理物質研究奨励奨学者実施要項

令和3年6月11日  
数理物質系運営委員会  
数理物質科学研究群運営委員会  
数理物質科学研究科運営委員会

### (目的)

第1条 数理物質科学研究群、数理物質科学研究科博士後期課程または数理物質系(以下「数理部局等」という。)に所属する学生または非常勤研究員(博士特別研究員を含む)に対し、コロナ禍で生活に困窮している環境を良好なものとし研究の推進のために、太田憲雄氏からの寄付金「数理物質研究奨励奨学者(以下「研究奨励奨学者」という。))として給付する奨励金に関して必要な事項を定める。

### (奨励金の支給)

第2条 研究奨励奨学者に給付型の支援経費(以下「奨励金」という。)を支給する。ただし、他の奨学金等を受給している場合も支給できるものとする。

2 研究奨励奨学者に支給される奨励金は、雑所得として課税の対象とする。

### (採用対象者)

第3条 研究奨励奨学者に採用することのできる者は、数理物質科学研究群または数理物質科学研究科の博士後期課程に在学する(在学期間が3年に達しない)学生並びに数理物質系に所属する非常勤研究員(博士特別研究員)とする。

### (支給枠)

第4条 研究奨励奨学者に対する奨励金の支給枠は、2名とする。

### (支給期間)

第5条 研究奨励奨学者に対する奨励金の支給月数は、令和3年10月1日から令和4年3月31日までの6か月間とする。

### (奨励金単価)

第6条 奨励金は、一人当たり250,000円とする。

### (申請手続)

第7条 数理部局等は、原則として、採用を開始する1月前までに公募その他の方法により募集を行う。

2 研究奨励奨学者に応募する者は、研究群長、研究科長及び数理物質系長(以下「部局長等」という。)に研究奨励奨学者研究計画書(様式1)により申請しなければならない。

### (決定)

第8条 部局長等は、合理的かつ客観的な基準の下に審査の上、提出された研究計画等の内容等により、採用の決定をするものとする。

2 部局長等は、研究奨励奨学者として採用する者に、研究奨励奨学者採用通知書(様式1-2)を交付する。

3 前2項の規定に基づき、研究奨励奨学者を採用するに当たっては、数理物質系長室会議において公平性及び透明性の確保に努めるものとする。

### (終了報告書)

第9条 研究奨励奨学者に採用された者は、当該年度の研究終了時に研究奨励奨学者終了報告書(様式2)を部局長等に提出するものとする。

### (辞退)

第10条 研究奨励奨学者に採用された者の都合により採用期間の途中で研究奨励奨学者を辞退しようとする場合は、辞退届(様式3)を部局長等に提出するものとする。

### (返還)

第11条 不適正に奨励金を受給した者は、受給した奨励金の一部又は全部を返還するものとする。

### (その他)

第12条 この要項に定めるもののほか、研究奨励奨学者の実施に関して必要な事項は、別に定める。

## 研究奨励奨学者研究計画書

学位プログラム名 または所属域			
所属 研究科・専攻名 または所属系			
フリガナ 氏 名 (性別)	(男・女)		
学 籍 番 号 または職員番号		生年月日	(西暦) 年 月 日 生
現住所/連絡先	〒 TEL E-mail @		
採用期間	令和3年10月 1日～令和4年3月31日(6カ月)		
指導 教員所属・氏名 (若手研究者は氏名のみ)	(所属・職名) (氏名)		
他の支援経費等の 受給状況	※ 採用期間に受給予定の項目があれば、□にチェックを入れること。 <input type="checkbox"/> ① 国費による支援、又は、外国人留学生で日本政府(文部科学省)奨励金 <input type="checkbox"/> ② (独)日本学術振興会の特別研究員(DC) <input type="checkbox"/> ③ (独)日本学生支援機構の奨励金貸与、又は、学習奨励費 <input type="checkbox"/> ④ 母国の奨励金又は大学独自の奨励金 <input type="checkbox"/> ⑤ TA・RA・TF等の他の給付型支援経費 <input type="checkbox"/> ⑥ その他 <input type="checkbox"/> 受給等の予定はありません。		
研究題目名			
前年度研究業績	※ 次の項目に該当するもの若しくは特筆する研究業績等があれば記載してください。 また、それを証明する資料も適宜添付してください。 (1) 学術雑誌等(紀要・論文集等も含む)に発表した論文、著書 (2) 学術雑誌等又は商業誌における解説、総説 (3) 国際会議における発表、又は、国内学会・シンポジウム等における発表 (4) その他(特許、受賞歴等)		
その他	※ 採用期間に受給予定の項目があれば、□にチェックを入れること。 <input type="checkbox"/> ① 国費による支援、又は、外国人留学生で日本政府(文部科学省)奨励金		
事前確認事項	※ 研究奨励金の受給にあたって、次の事項を必ず行うこととし確認のうえは、□にチェックを入れること。 <input type="checkbox"/> a 勤務先等から研究奨励金を受給して問題がないことを確認している。 <input type="checkbox"/> b 雑所得として確定申告を行う。		

1. コロナ禍で経済的に困窮している申請者の状況の説明（500字以内）

2. 現在の研究内容の概略、見込まれる業績、成果など

（申請者氏名： ）

3. (21世紀になり世界が大きく動いているが) 21世紀において申請者が活動している分野の研究が進むべき方向について提言 (2000字以内)

申請にあっては、虚偽の記載はありません。

また、採用期間中は、学位プログラムまたは系に在籍し、その研究に専念いたします。

令和3年 月 日  
申請者本人 (署名)

指導教員確認 (署名)  
(所属・職名)  
(指導教員氏名)

## 研究奨励奨学者採用通知書

(所属)

(氏名) \_\_\_\_\_ 殿

(部局等名)

(部局長等名)  
\_\_\_\_\_

下記のとおり、研究奨励奨学者に採用します。

## 記

学位プログラム名	
採用名称	研究奨励奨学者
採用期間	令和 年 月 日 ~ 令和 年 月 日
研究題目名	
奨励金金額	月額 _____ 円、年額 _____ 円
指導教員所属・氏名 (研究者は域長)	(所属・職名) (氏名)

## 留意事項

- 奨励金は、銀行振込により、9月第4金曜日に全額支給します。  
ただし、第4金曜日が祝日に当たるときは、前日の木曜日に支給します。
- 採用期間であっても、履修、研究の進捗等により、奨励金の変更、中断、中止を行う場合があります。
- 研究奨励奨学者に採用された者は、ホームページ等で所属・氏名を公表します。
- 奨励金は、雑所得として課税されるので、受給した翌年に確定申告と納税を行うことになります。

## 【参 考】

- 所得税・税法上、親の扶養親族となっている場合は、1月から12月までの受給額から必要経費を除いた金額が38万円を超えると、親は扶養控除を受けられないとともに所得税が課税されます。また、当該年度の所得額に応じ、次年度の住民税が算定されます。
- 健康保険や共済組合上の被扶養者・年額の見込み額が130万円を超えると被扶養者となれません。当初から奨励金が決定されるため、被扶養者となれない要件に該当することとなる場合は、受給者自身で国民健康保険に加入することが必要となります。
- 授業料免除・世帯の状況により、家計基準の計算が異なりますが、収入によっては免除されない場合があります。
- 採用後の支給条件・休学、留学(休学)の身分異動を許可された場合は、支給を休止する。

## 研究奨励奨学者終了報告書

学位プログラム名 または所属域	
所属研究科・専攻名 または所属系	
(学籍番号または職員番号) 氏名	( )
採用期間	令和 年 月 日～令和 年 月 日 ( カ月)
研究題目名	

(裏面についても記入すること)

平成 年 月 日

受給者氏名 (署名) \_\_\_\_\_

(提出については、指導教員または域長に確認(署名、捺印)の上、提出すること)

指導教員または域長の所見	
指導教員または域長の確認 (署名)	(所属・職名) (氏名)

事務局記載欄

※整理番号 (事務記載)

※ 部局長等確認欄

(署名又は捺印)

1. 当初の研究計画

2. 研究成果

3. 達成できなかったこと、予想外の困難、その対処法

4. 今後の課題

5. 特筆すべき研究業績

- (1) 学術雑誌等（紀要・論文集等も含む）に発表した論文、著書（査読の有無を区分して記載してください。査読のある場合、印刷済及び採録決定済のものに限ります）  
著者（申請者を含む全員の氏名を、論文と同一の順番で記載してください。題名、掲載誌名、発行所、巻号、pp 開始頁－最終頁、発行年をこの順で記入してください）
- (2) 学術雑誌等又は商業誌における解説、総説
- (3) 国際会議における発表（口頭・ポスターの別で記載してください。査読の有無を区分して記載してください）  
著者（申請者を含む全員の氏名を、論文等と同一の順番で記載してください。題名、発表した学会名、論文等の番号、場所、月・年を記載してください。発表者に○印を付してください。（発表予定のものは除く。ただし、発表申し込みが受理されたものは記載しても構いません）
- (4) 国内学会・シンポジウム等における発表  
(3)と同様に記載してください。
- (5) 特許等（申請中、公開中、取得を明記してください。ただし、申請中のもので詳細を記述できない場合は概要のみの記述で構いません。）
- (6) その他（受賞歴等）

上記の（1）～（6）に該当するものがあれば記載してください。

令和 年 月 日

## 辞 退 届

(部局等名)

(部局長等名) \_\_\_\_\_

殿

(所属)

(氏名) \_\_\_\_\_

私は、下記により、研究奨励奨学者を辞退したいので、届出ます。

## 記

学位プログラム名 または所属域	
辞 退 年 月 日	令和 年 月 日
採 用 期 間	令和 年 月 日～令和 年 月 日 ( カ月)
研 究 題 目 名	
指導教員または域長 所属・氏名	(所属・職名) (氏名)
辞 退 の 理 由	